

# 2025年2月期 第2四半期(中間期)決算説明資料

## 株式会社アルバイトタイムス

2024年10月18日



# 連結業績の概要

2024年3月1日～2024年8月31日



# 2025年2月期 中間連結会計期間の業績(PL)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2025年2月期Q2累		2024年2月期Q2累		前年同期比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高		2,079	100.0	2,193	100.0	△114	△5.2
売上原価		634	30.5	664	30.3	△30	△4.6
	印刷費	107	5.2	148	6.8	△41	△27.6
	労務費	64	3.1	52	2.4	11	22.6
	その他売上原価	462	22.3	463	21.1	△1	△0.3
売上総利益		1,444	69.5	1,529	69.7	△84	△5.5
販管費		1,443	69.4	1,462	66.6	△18	△1.3
	人件費	820	39.5	863	39.3	△42	△4.9
	広告販促費	319	15.3	291	13.3	27	9.4
	流通費	15	0.8	43	2.0	△27	△63.5
	その他販管費	287	13.8	263	12.0	24	9.2
営業利益		1	0.1	67	3.1	△65	△98.2
経常利益		6	0.3	66	3.0	△59	△89.9
税金等調整前		6	0.3	66	3.0	△59	△89.9
四半期純利益		30	1.5	40	1.9	△10	△25.5
EPS		¥1.65		¥1.60			



# 2025年2月期 中間連結会計期間の業績(セグメント別売上高)

(単位:百万円)

2500

主力事業の  
『DOMO』・『DOMO NET』・『JOB』  
『ワガシャ de DOMO』等

連結子会社リンクが  
運営するフリーペーパー  
取次事業等

2000

1500

2024年2月期中間期

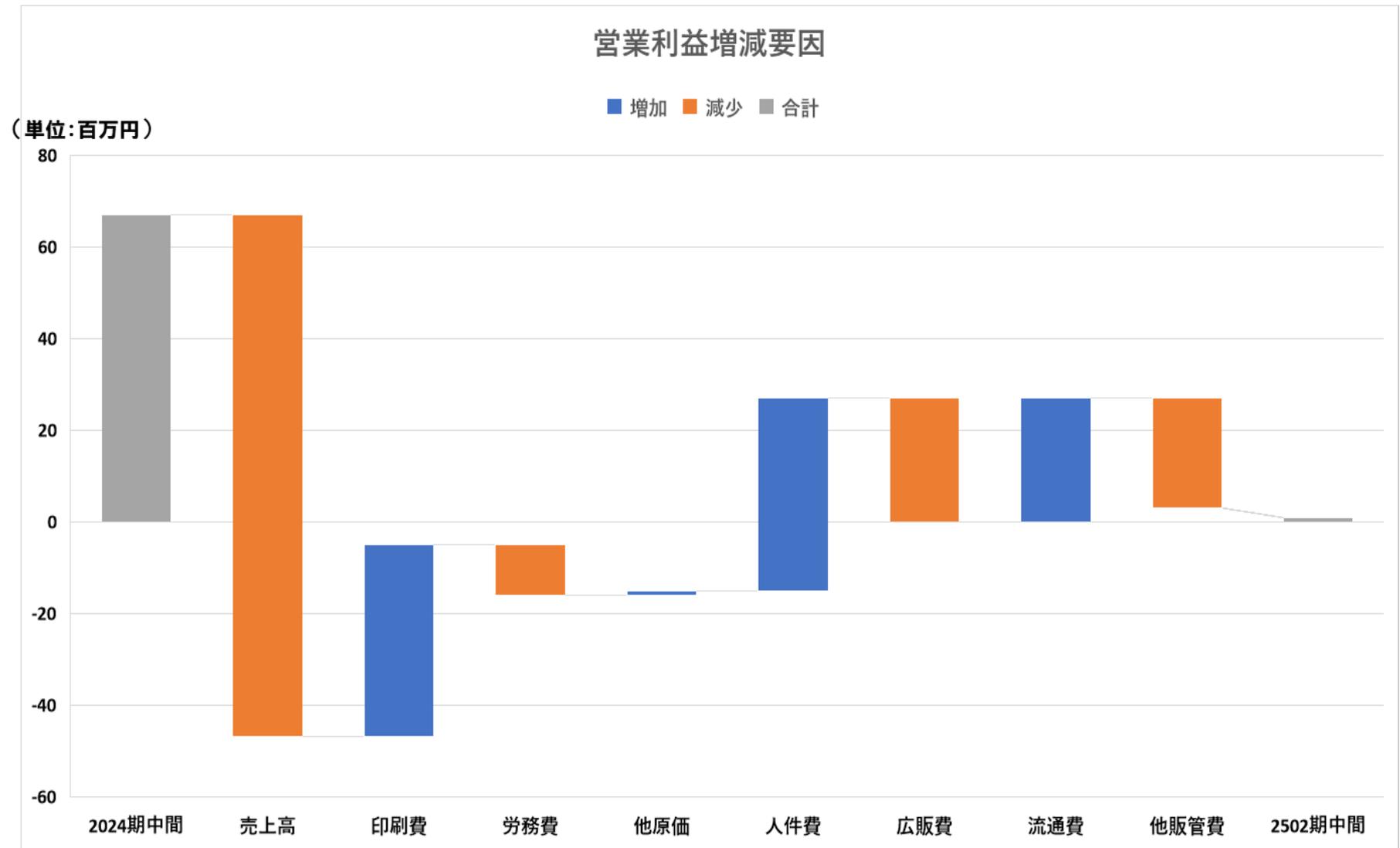
情報提供事業

販促支援事業

2025年2月期中間期



# 2025年2月期 中間連結会計期間の業績(営業利益の増減要因)



# 2025年2月期 中間連結会計期間の業績(BS)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2024年8月末		2024年2月末		前期末比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産		2,512	64.7	2,672	67.1	△159	△6.0
固定資産		1,373	35.3	1,311	32.9	61	4.7
資産合計		3,886	100.0	3,984	100.0	△98	△2.5
流動負債		592	15.2	624	15.7	△32	△5.2
固定負債		27	0.7	29	0.7	△1	△6.8
負債合計		619	15.9	653	16.4	△34	△5.2
資本金		455	11.7	455	11.4	—	—
資本剰余金		538	13.9	538	13.5	—	—
利益剰余金		3,860	99.3	4,017	100.8	△157	△3.9
自己株式		△1,591	△41.0	△1,684	△42.3	92	△5.5
株主資本		3,262	84.0	3,327	83.5	△64	△2.0
その他包括利益累計額		4	0.1	3	0.1	0	33.0
純資産		3,266	84.1	3,330	83.6	△63	△1.9
負債・純資産合計		3,886	100.0	3,984	100.0	△98	△2.5
BPS		¥178.60		¥182.10			

# 2025年2月期 中間連結会計期間の業績(CF)

金額・増減額:百万円	2025年2月期Q2累	2024年2月期Q2累	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動CF	55	135	△80
投資活動CF	△61	△66	4
財務活動CF	△96	△180	84
換算差額	△1	4	△6
増減額	△105	△106	1
期首残高	2,123	3,034	△910
期末残高	2,018	2,927	△909

## ➤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、税金等調整前中間純利益が6百万円、減価償却費が21百万円、売上債権及び契約資産の減少額が65百万円、未払債務の増加額が4百万円となった一方で、未払消費税等の減少額が11百万円等となったためです。

## ➤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、無形固定資産の取得による支出が40百万円等となったためです。

## ➤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、配当金の支払額が94百万円等となったためです。

# 当中間連結会計期間の総括

2024年3月1日～2024年8月31日

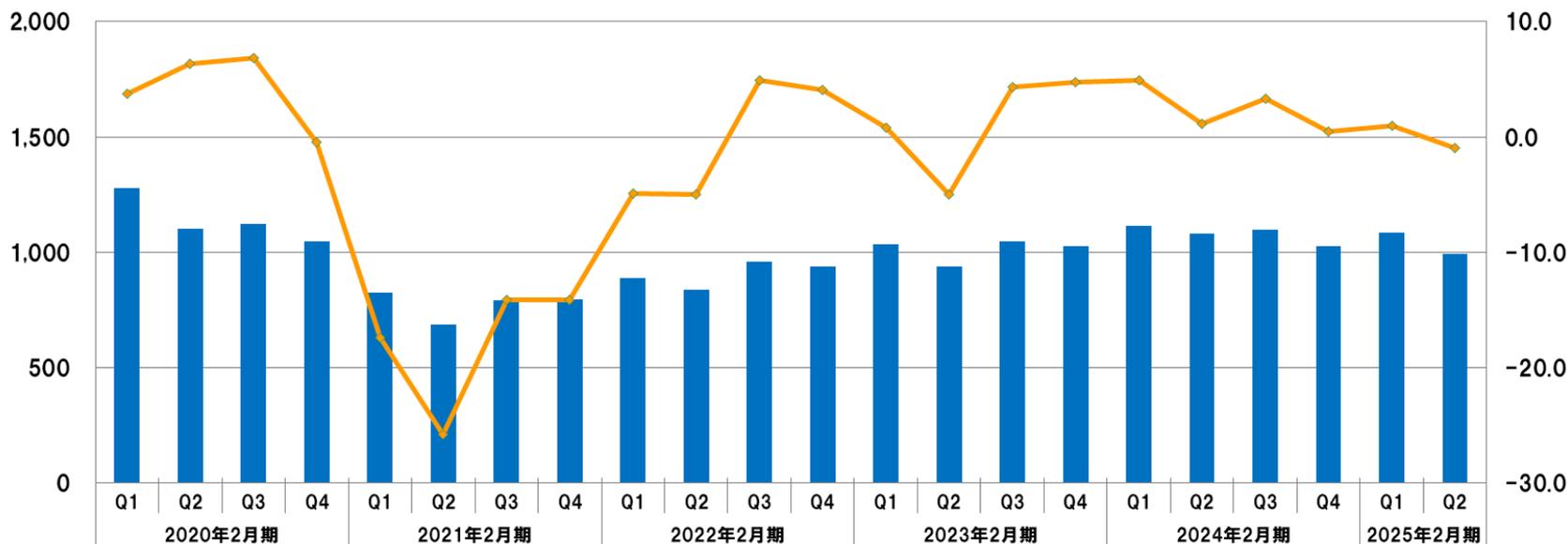


# 経営環境と業績推移

(単位:百万円)

売上高 営業利益率

(単位:%)



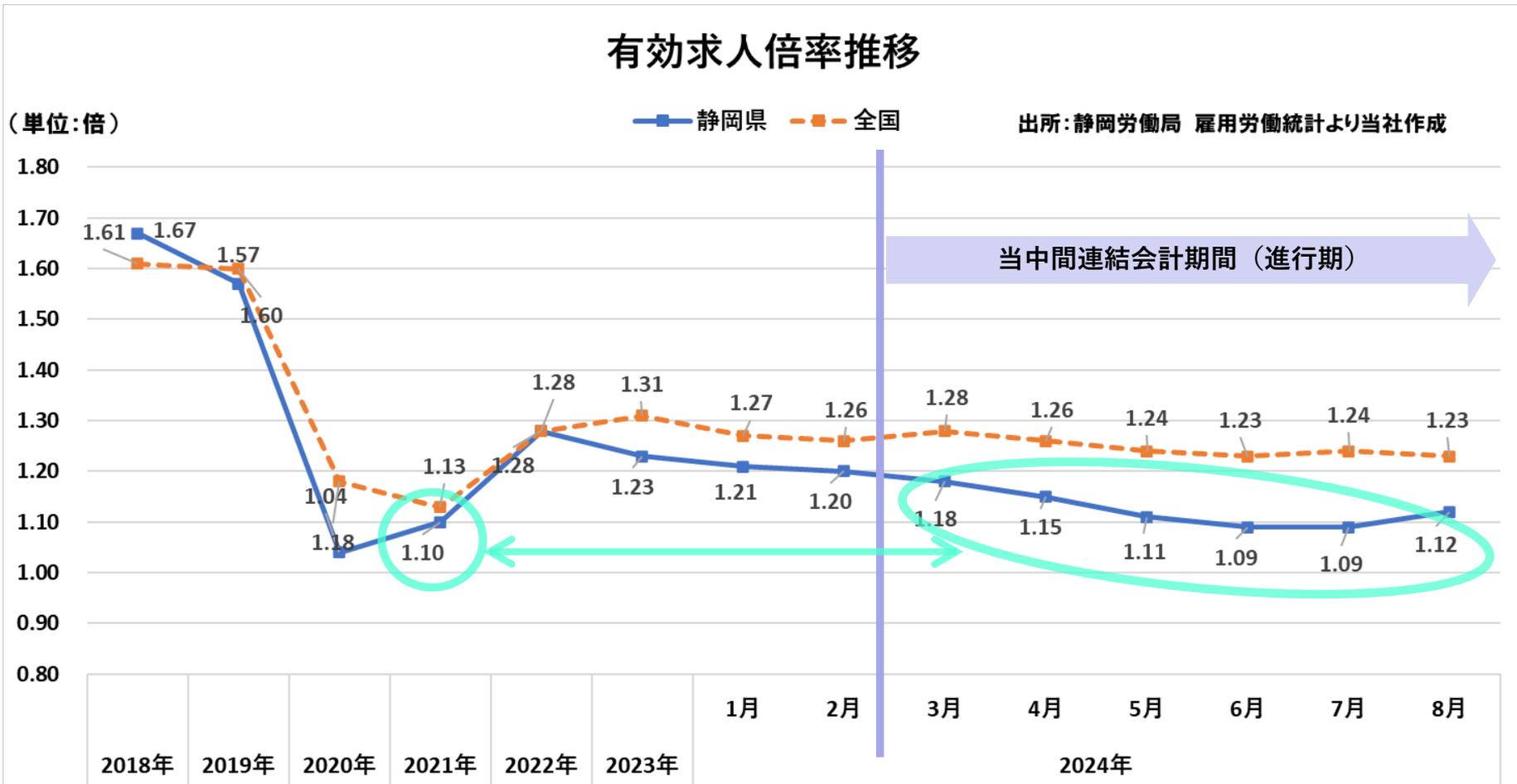
## ➤ 取り巻く環境と経営のあゆみ

- ◆ リーマン・ショック後、国内景気回復の中で基盤事業のサービス強化および収益の安定化を推進し、安定的な利益を計上。前期まではコロナ禍後の採用マインドも下げ止まり傾向にあったものの、当期は戦略地域である静岡県の採用環境が弱含みな状況であることと、前年休止したサービスの影響等もあり、減収減益となりました。
- ◆ 当社の今後の対策といたしましては、前期から継続し、『ワガシャ de DOMO』の拡販に注力することや当社の成長に資すると判断したコストにおいては積極的に投資を継続していきます。また、非接触型のインサイドセールスへの転換や多様化する人材サービスを踏まえたビジネスモデルの変革等、当社の再成長に向けた事業運営を着実に推進してまいります。



# 事業環境

進行期において、主力戦略地域の静岡県の有効求人倍率の推移が弱含みであり、コロナ禍中の2021年度と同水準となっている



## 成長に向けた投資の実施

➤ 成長に向けた投資(販売拡大、商品力の強化、生産性向上、事業規模拡大)を実施

### 【コスト投資】

#### 広告販促費

投資  
増加額

27  
百万円

販売拡大や商品力向上の  
ための投資

### 【新規事業投資】

#### 人材教育関連費用

投資額

73  
百万円

人材教育事業の1つである、  
IT未経験の新卒者向けの  
IT教育事業

### 【固定資産投資】

#### 固定資産投資費用

投資額

19  
百万円

内訳  
設備投資関連 4百万円  
Web関連投資 14百万円

設備は事業所外構工事、Web  
関連投資は、主に「ワガシャ  
de DOMO」の機能開発など

当中間連結会計期間における成長に向けた投資は**119百万円**(前年同期**158百万円**)

※成長に向けたコスト投資において広告販促費は前年同期比における増加額を投資としております。



# 重点施策

## 「ワガシャ de DOMO」の機能追加及び拡販施策継続による Web商材の売上拡大を牽引

### 【実施内容】

利便性の追求によるオプションサービスの開発・販売による差別化を図る

協業パートナーとの業務提携による販路拡大施策の継続

ワガシャ  **de DOMO!**

自社専用の採用サイトを簡単に作成できる採用管理システム (ATS)

売上高

**880**

百万円

前中間連結会計期間比

**+5.1%**

連結売上高構成比

**+42%へ拡大**

附属する代販商品等の売上も順調に拡大し、「ワガシャ de DOMO」と合算し売上構成比49% (前年43%)

(当中間連結会計期間：内部消去取引前)



# 連結業績予想

2024年3月1日～2025年2月28日



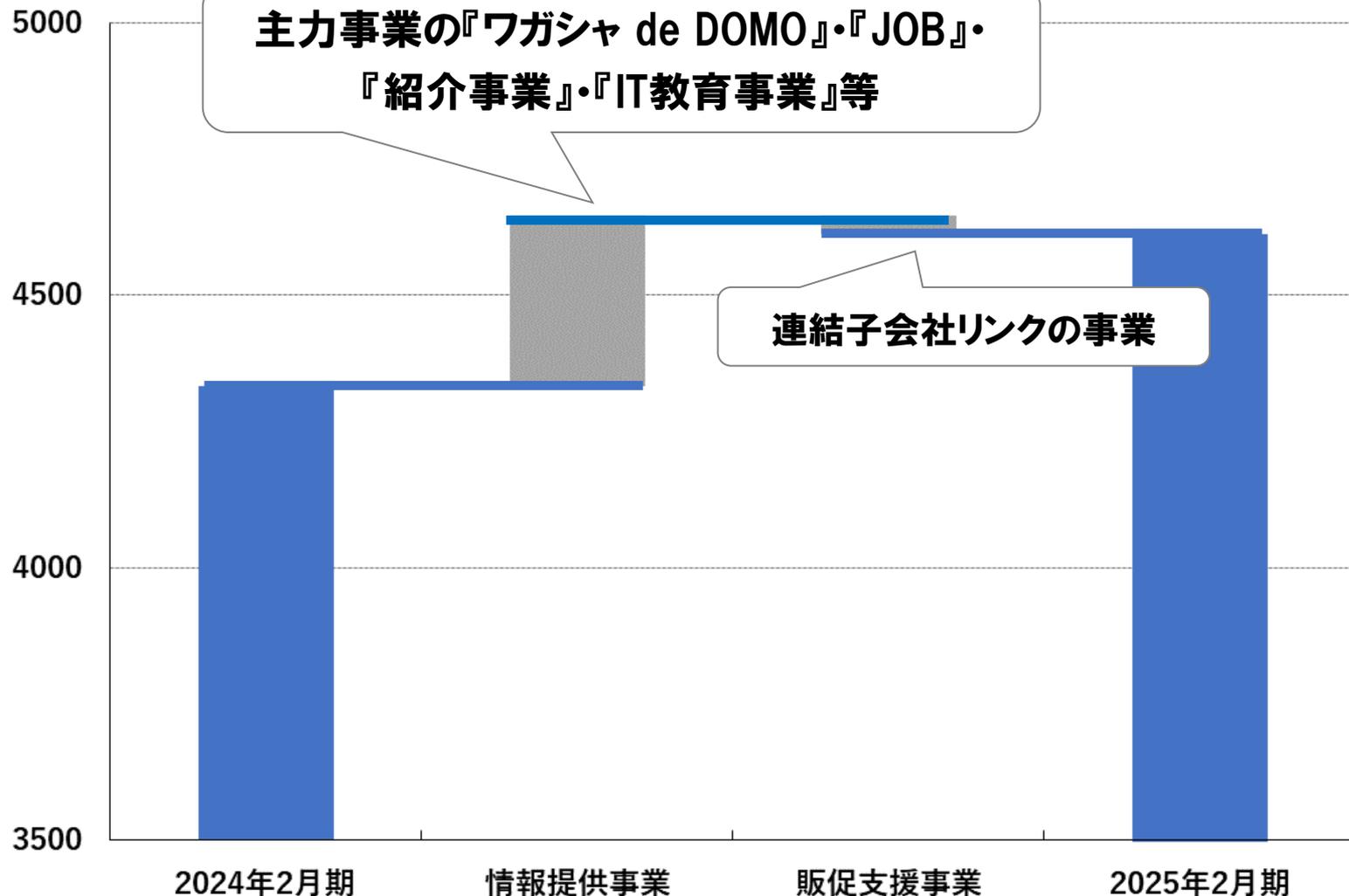
# 業績予想

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	2025年2月期		2024年2月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	4,596	100.0	4,318	100.0	278	6.5
売上原価	1,400	30.5	1,303	30.2	96	74
印刷費	233	5.1	279	6.5	△46	△16.5
労務費	129	2.8	116	2.7	13	11.3
その他売上原価	1,037	22.6	907	21.0	129	14.3
売上総利益	3,196	69.5	3,014	69.8	182	6.0
販管費	3,046	66.3	2,907	67.3	139	4.8
人件費	1,739	37.8	1,716	39.7	23	1.4
広告・販促費	721	15.7	569	13.2	152	26.7
流通費	22	0.5	71	1.6	△48	△68.4
その他販管費	563	12.3	550	12.8	12	2.3
営業利益	150	3.3	107	2.5	42	39.5
経常利益	148	3.2	46	1.1	102	219.8
税金等調整前 当期純利益または当期純損失	148	3.2	△3	△0.1	152	—
親会社株主に帰属する 当期純利益または当期純損失	66	1.4	△32	△0.8	98	—
EPS	¥3.61		¥△1.31			



# セグメント別売上高(内部取引消去前)

(単位:百万円)



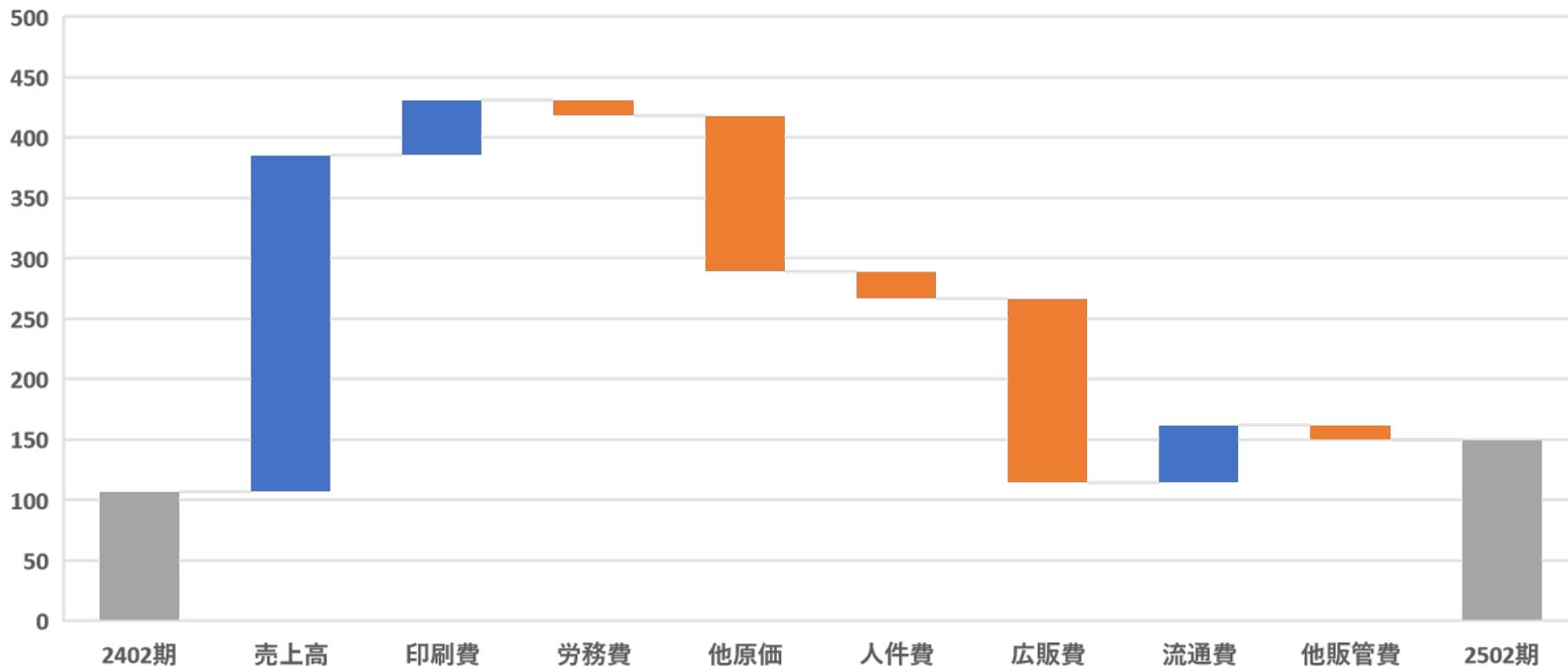
# 売上から営業利益までの内訳

更なる売上増に向けて要員、広告販促費投入も黒字継続

営業利益増減要因

(単位:百万円)

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計

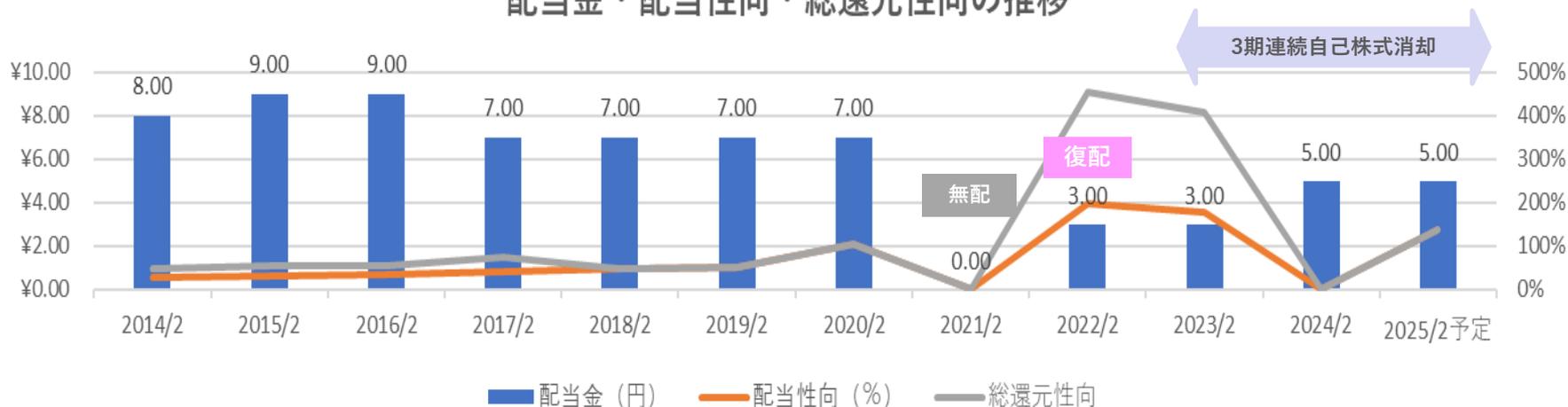


# 株主還元

当期は前期同様の1株あたり5円の配当を予定しています。

また株主還元の一環として2024年4月25日に自己株式70万株の消却を行いました。

配当金・配当性向・総還元性向の推移



当社グループは、中長期的な企業の競争力の強化と成長力の維持を可能とする投資を最優先事項と捉えています。そのため、内部留保金並びにフリー・キャッシュ・フローにつきましては、新規事業向けを中心とした投資に充当し、グループとしてのさらなる成長を図ります。一方で、株主の皆様に対してはその投資によって得られた成果、つまり連結業績に連動した利益配分を行っていくこととし、具体的には連結配当性向50%を目処に配当を行う方針です。

2024年2月期は市場での自己株式の取得および、公開買い付けによる自己株式の取得を行い、合わせて消却も行って参りました。また、前期は当社創立50周年を記念し、1株当たり記念配当2円を含めた年間配当金5円の期末配当を行っております。2025年2月期につきましては、1株あたり5円の期末配当を予定しております。

# 免責事項

本資料に掲載されている、アルバイトタイムスグループ(株式会社アルバイトタイムス及びその子会社・関連会社;以下「当社グループ」)の予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、本資料作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいています。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意ください。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響を受ける等の事情により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なることもあり得ます。

# 連絡先

株式会社アルバイトタイムス コーポレート本部

管理部 経営企画課 IR担当

E-mail: [ir@atimes.co.jp](mailto:ir@atimes.co.jp)

HP: <https://www.atimes.co.jp>